

角高だより

HP <http://kakuko.myswan.ed.jp/> Email kakuko@od.myswan.ed.jp



宮城県角田高等学校
〒981-1505
宮城県角田市角田字牛館1
☎ 0224-63-3001
FAX 0224-63-0523

第16回卒業式

3月1日（月）に角田高校第16回卒業式を挙行し、3年生157名が臥牛ヶ丘を巣立っていきました。今年も昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響で在校生なしの3年生だけの卒業式となりました。卒業証書授与の時には、担任から一人一人名前を呼ばれると卒業生は元気な声で返事をして、代表の生徒も立派に校長先生より卒業証書を受け取っていました。前生徒会長の笠間琉生（角田中出身）の答辞は、生徒会長として過ごした高校生活への思いを実感を込めて表現しており、気持ちが伝わるすばらしいものでした。高校生活最後の校歌斉唱も本来は大きな声で歌いたかったと思いますが、飛沫が飛ばないようにマスクをしたままで歌う時は小声でという条件つきで歌いました。式の後は各クラスでホームルームを行い、担任の先生より卒業証書を受け取りました。今年は密を避けるために保護者や在校生は教室に入れないことにしたため担任・副担任と卒業生だけのホームルームになりました。クラスによっては担任・副担任によるバイオリンとギターの演奏をしたりクラス全員の集合写真をとったりするなどして解散しました。その後は、お互いの卒業アルバムにコメントを書き合ったり、写真を撮り合ったり、部活動ごとに集まったりして最後の高校生活を満喫していました。



令和2年度卒業生の進路

国公立大学6名合格（宮城教育大，宮城大 他）

角田高校を今春卒業した3年生の進路が決定しました。今年度の卒業生は国公立大学合格者が6名で、2年連続で宮城教育大学に一般入試で合格しました。また、ここ数年文科省の方針で合格者を少なめに抑える傾向のあった私立大学でも、東北学院大学でのべ41名合格するなど健闘しました。また、公務員でも宮城県警察のような倍率の高い公務員試験に合格するなど生徒たちの頑張りが表れた進路先となりました。

| 進路先 | 人数 | 主な進路先 |
|-------|----|--------------------------------------|
| 国公立大学 | 6 | 宮城教育大学, 山形大学, 福島大学, 宮城大学 |
| 私立大学 | 65 | 東北学院大学, 東北福祉大学, 東北工業大学, 尚絅学院大学 他 |
| 短期大学 | 8 | 仙台青葉学院短期大学 |
| 専門学校 | 48 | 仙台医療センター附属看護助産学校, 石巻赤十字看護専門学校 他 |
| 公務員 | 12 | 角田市役所, 丸森町役場, 岩沼市役所, 大河原町役場, 宮城県警察 他 |
| 民間就職 | 9 | アイリスオーヤマ株式会社, 医療法人金上仁友会, 宮城第一信用金庫 他 |

予餞会

2月25日(木)に予選会を開きました。例年は全校生徒が体育館に集まって3年生を送る企画なのですが、密を避けるため体育館には3年生だけ集まり、1・2年生は教室でリモート参加という形式で行いました。当初は1・2年生が製作したビデオレターやスライドを3年生だけが参加して視聴する予定でしたが、1・2年生にも見せたいという生徒会執行部の熱意に動かされて、全校生徒の参加となりました。部活動ごとのビデオレターでは1・2年生の先輩に対する思いが込められた趣向が凝らされていて見ごたえのあるものでした。



応援練習

3月12日(金)から4回に渡って応援練習を行いました。今年度は4月から6月まで休校で角白定期戦も開催されず、1年生は1度も応援練習を行わないまま2年生になってしまうという異例の事態となりました。そこで4月より新1年生が入学してくる前に少しでも応援練習を経験しておいた方がよいという声が応援団幹部よりあがり、LHRや放課後の時間を利用して応援練習をすることになりました。全校生徒が体育館に入ると密になることから、2回に分けて行うことにしました。前もって練習していた生徒会幹部の見本を見ながら1年生も戸惑いながら見よう見まねで手をたたいたり拳を振り上げたりしていました。2年生も2年ぶりの応援練習で忘れていた部分もあり、再確認する意味でも有意義な時間となりました。また、新たに応援団に入りたいという生徒も出てきて、コロナ禍の中でも着実に伝統の引き継ぎが行われていることに嬉しくもありました。



角田ワークショップ

角田市総務部企画財政課が主催して1月13日(水)から2月22日(水)まで4回に渡って第6次長期総合計画策定に係る「かくだワークショップ」がかくだ田園ホールで開催され、本校生徒7名(1年生3名、3年生4名)が参加しました。角田市の現状と課題を出し合いながら角田市の将来像を語り合い、思いついたアイデアを事業計画として企画提案するという取り組みです。ファシリテーターとして毎回参加されていた東北学院大学の柳井雅也教授の指導助言を中心として8グループに分かれて話し合いが行われ、2月22日(水)に各グループよりパワーポイントを使用した発表会が行われました。Gグループからは本校3年生の長崎悠河(金津中出身)が発表を行いました。発表では、廃校利用をテーマに今後小中学校の統廃合によって廃校となった校舎を利用したレストランや宿泊体験などで交流人口を増加させるというアイデアを提言しました。地元の藤尾小学校は春になると桜が美しく咲き誇るということで、そういった地元と母校への愛着をこめて将来的に廃校となっても何らかの形で活用してほしいという願いがこめられた発表でした。これらの提言は市が取りまとめて実現可能性や採算を検討して第6次長期総合計画策定の参考とされるということです。

